



世界最古の町・エリコ
 新約聖書の出来事⑤

聖書に関心のない人、口唇の記念碑がある。でも、一度はエリコとパレスチナ人の子供という地名を耳にしたことがラクダをもつて観光とがあると思う。世界客が通るのを待っている。最古の町で、最も低地だ。父親は道路横でラクダの骨の首飾りなど近くに人が住んでい、の土産品を売っている。た跡がある、考古学的妻が土産に首飾りを買った。少年は無料でラクダと記念撮影してもいいと言う。彫りの深い顔で利発そうな少年で北東に約四十分、エリコに近づくと海抜ゼ



まで荒野が続く、イエスが四十日間の断食をしたところだという。ここでイエスが悪魔からの誘惑を受けたことがマタイ福音書四章に詳しく記述されている。しばらく走ると、左前方に「誘惑の山」が見え始める。エリコは海抜マイナス二百六十メートル、古くからオアシスの町として栄え、今も店頭にはたくさんの果物が並ぶ。チャーターしたタクシーの運転手さんが一本の大きな木を指差し「あれがザアカイの木」と言う。ルカ福音書十章に徴税人ザアカイの記述がある。イエスがエリコの町に入ると、背が低いザアカイは一目イエスを見ようとこの木に登る。急いで降りて来なさい。泊まりたい」と言われた



誘惑の山、中腹の白い建物はギリシャ正教会の修道院

言葉こそ信仰の本質があると思う。エリコをはじめ各地でイエスは奇跡を行われた。神の二つのしるしである奇跡を誰もが見たがる。しかし、大切なのはそれを行う神への絶対の信頼であり、それが自分を救うことになる。弟子の一人であるトマスですら「復活されたイエスを見ない限り信じない」とヨハネ福音書二十章にある。これに対してイエスは「私を見たから信じたのか。見ないで信じる人は幸いである」と言われた。

「目が見えるようになります」と言う。あなたの信仰があなたを救った」と言われ、盲人は目が見えるようになった。イエスがエリコの話がマルコ福音書十章にある。私はこの「あなたの信仰があなたを救った」というこのイチジク桑の木は「ザアカイの木」と呼ばれる



新約聖書に書かれているパレスチナ各地を旅しながら思ったことは、二千年前の出来事ではあるが、今もイエスの言葉は新鮮に生き続けているということである。